

平成 31 年度使用小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）  
の採択結果等について

採択地区名 江田島市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手引きの上段には指導事項に即した設問が書かれている。また、下段は、言語活動の手順が書かれている。</li> <li>○単元の冒頭に領域名が示してあり、学習の見通しがもちやすい。また、単元の冒頭に、活動の流れが明示してあるため、学習活動が分かりやすい。</li> <li>○発展的な教材は、関連読書として扱いやすい。</li> <li>○表・グラフ・写真等が本文記述と有効に関連付けられ、図表も充実している。</li> <li>○手紙の書き方について、3年生で指導し、4年生で再度おさえるようにしている。</li> <li>○報告文などを書く活動において、資料の有効活用を題材とした内容を5年生で扱っている。</li> </ul>
書 写	光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生以上の学年には、伝統や文化に関する内容の記述がある。6年生以外は、書き初めのページに毛筆の手本や、短歌・俳句・古文の硬筆教材がある。</li> <li>○日常生活に生かせる教材が多く、他教科等に生かせる。また、書写ノートが必要ないほど、書き込む箇所が多い。</li> <li>○毛筆の教材は7、硬筆の教材は26で、硬筆記入できる部分は9である。</li> <li>○筆づかひの良い例と悪い例の比較があるので分かりやすい。</li> <li>○書写で学習したことを、他教科等や生活で広げることができる内容が豊富であり、生活に役立つ実務的な教材が多い。</li> </ul>
社 会	日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界文化遺産について画像を掲載しているのは21である。</li> <li>○47都道府県の学び方として、自分の住む県、知っている県を白地図に書き込むようにしている。また、クイズ作り、県の「パンフレット作り」で県をPRする学習に発展させている。</li> <li>○「ふりかえってみよう」の手順をもとにまとめている。「大きくジャンプ」を設定し、発展的な学習として、学習したことを深化させようとしている。</li> <li>○主な原料・エネルギーの資源の輸入先が、世界地図で分かり易く表現してある。また、輸出入の貿易額の比較のページでは、世界地図の資料の読み取り方が、「学び方、調べ方コーナー」に記載されており、児童の学び方の参考になる。</li> <li>○「わたしたちの県」の学習では、同じ中国地方の岡山県を取り上げていることで児童がまとめやすい。</li> </ul>

地 図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統文化や特産品に結びつく旧市町村名を掲載している。また、地域の産業が読み取れる絵記号（農産物、工業、伝統工芸品など）が掲載されている。</li> <li>○巻末の「地震・火山の災害と防災」では、過去に起こった災害や災害に備える取組をのせるとともに、防災マップづくりの手順を示している。</li> <li>○山地は立体的に描写し、土地利用の様子を市街地、工業地など5種類の色で示されている。また、陸の高さ・海の深さは1～7段階で色分けされている。</li> <li>○索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、赤、青、黒の3色で色分けされている。</li> <li>○索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。さらに、索引の見方では、地名の種類を表す記号・色・列記号と行記号による場所の探し方を示している。</li> <li>○「地震・火山の災害と防災」の「防災マップづくり」で、地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品例を掲載している。</li> </ul>
算 数	学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第5学年（図形の面積）平行四辺形の面積の求め方では、公式を導くまでの思考の流れがスムーズで分かりやすい。</li> <li>○円を、「1つの点からの長さが等しくなるようにかいた丸い形を、円といいます」と定義している。</li> <li>○説明させる小発問の数は、第1学年は4、第2学年は11、第3学年は12、第4学年は28、第5学年は24、第6学年は23である。</li> <li>○第6学年（比例と反比例）比例の活用では、自分で説明する活動に向けて、考え方の記述があり、さらに言葉を付け加えて説明することを求めている。</li> </ul>
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末の「まとめよう」では、まとめの具体例を示しており、まとめ方を理解させるのに有効である。「たしかめよう」、「力だめし」では、基本・活用・応用の問題が示されていて基礎・基本の定着及び理解を深めるために有効である。さらに、理科プラス（ワークシート）がついていて指導の参考になる。</li> <li>○身近な生活に関連した話題を紹介し、日常生活や社会との関係付けを図っていて、興味・関心を高めるのに有効である。</li> <li>○問題を見つけよう→予想しよう→計画を立てよう→観察しよう・実験しよう→記録しよう→考察しよう・まとめよう→ひろげようの順に示している。</li> <li>○巻末では、算数とのつながりを示した資料、地域資料集、理科の本の紹介、次学年の学習例の紹介を掲載している。</li> <li>○3年じしゃくのふしぎでは、磁石につく・つかないを表にまとめる表の例があり、実験結果を整理しやすくしている。</li> </ul>

種 目	発行者	採 択 理 由
生 活	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すみかや飼育方法が明示された生き物は24種である。生態系を破壊する要注意外来生物を除外して環境破壊に配慮している。</li> <li>○別冊生活たんけんブックで安全・防災・衛生・マナーに配慮している。</li> <li>○幼児教育との接続について、学校生活を4場面に整理し、すっきりとまとめている。</li> <li>○2年間の活動を18の単元で構成し、上下巻のテーマがそれぞれ1つで（上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」）季節の移り変わりをベースにした配列が理解しやすい。</li> <li>○「つたえあおう」が言語活動を主とした構成になっており、活動が分かりやすい。</li> </ul>
音 楽	教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「歌声」のコーナーを設け、気持ちよく声を出すためのポイントの説明があり、歌声づくりの基本が分かるように工夫されている。</li> <li>○リコーダーの学習は、「シ」「ラ」「ソ」のそれぞれの音に練習曲が掲載され（練習曲3曲）、「シ」「ラ」「ソ」を学習した後、「シラソでリレー」「友だちとつなげて」と、児童がさらに興味をもってできるような練習方法が紹介されている。</li> <li>○音楽と生活とのかかわりについて、第2学年では身の回りの物から音楽につながる活動を含む題材を、第4、5、6学年の巻頭ページに歌手やピアニスト等からのメッセージを掲載し、音楽への興味・関心を高める工夫がなされている。第1、2、3学年は透明シートをもちいて、興味をもって、想像力豊かに学習できるよう工夫されている。また、どの学年も、写真やイラストが美しくワイドに掲載されている。</li> <li>○器楽では、低学年で打楽器、鍵盤楽器の基礎的な奏法について学習ページと巻末に掲載している。巻末に掲載してあることで、学習のたびに楽器の使い方について児童が振り返ることができ定着しやすいというよさがある。</li> <li>○共通教材について、3ページで写真を示し、情景を想像しながら表現することができるように工夫されている。また、活動のポイントが同じマークと囲みで示されており、授業でのねらいが理解しやすい。</li> <li>○音楽の聴き取り方の視点が記述されており、鑑賞したことを記録する活動につなげやすい。また、話し合いの視点が明確に示されており、話し合いの活動に広げやすい。</li> </ul>
図画工作	日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その題材で使う材料や道具の取扱いについては、すべての学年において巻末の「使ってみよう材料と用具」6ページで説明している。子どもたちの「発想や構想」「創造的な技術」を支える材料や用具の扱いをより詳しく、より分かりやすく丁寧に示している。</li> <li>○学習のめあてもマーク化して4つの観点で分かりやすく示している。特に重点化してほしい観点には下線を引い</li> </ul>

		<p>て例示するなど、児童にも分かりやすく示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表現・鑑賞活動の過程，表現技法，材料，用具の扱いについて具体的に示した箇所のあるページ数は 189 ページである。</li> <li>○サイズを明記している参考作品数は低学年 170，中学年 190，高学年 231，合計 591 である。</li> <li>○創作意欲が高まるような子どもの表情をとらえた写真が多い。</li> <li>○「学習のめあて」に伝え合うことを示すことで，全ての題材に言語活動が位置づけられている。</li> <li>○作品に込めた自分の思いや思いを実現するための工夫を紹介しているので，児童が作品について話し合うときのヒントになる。</li> </ul>
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みそを使った伝統料理など，16 カ所取り上げており，写真が豊富で目を引く。</li> <li>○巻末に，家庭科の学習でよく使われる用語があり，便利である。また，わかりにくい言葉は，一口メモで丁寧に説明しており，一口メモは随所に書かれている。</li> <li>○いろいろなおかず例が 15 だが，食材や調理の仕方で表にまとめられている。また，☆の数で調理の難易度を示しているため，技能に合わせておかずを選ぶ工夫がされている。</li> <li>○発展的な学習内容をチャレンジコーナーとして大きく取り上げており，興味を引く。魅力的でやってみたくと思わせるような内容や写真表示である。</li> <li>○裁縫道具や調理器具などが，題材の中にまとめて表示してあり分かりやすい。また，手順が見開き 2 ページに横並びになっており，目で追いやすい。</li> <li>○「話し合おう」「調べよう」「考えよう」のコーナーに色が付いており，目に付きやすい。</li> </ul>
保健	学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題が明確に示されている。単元における導入が実際の生活をイメージしやすい写真で示されている。</li> <li>○学習したことを活用する場が設定されている。</li> <li>○犯罪の起こりやすい場面がイラストで数多く示されている。また，インターネットによる被害についても事例が明記されている。</li> <li>○発展的な学習に関する記述は全学年合計 14 カ所である。</li> <li>○写真・イラストがページの中にバランスよく配置されており，メリハリもあり，見やすい。内容面でも効果的に写真が活用されている。</li> <li>○考えを書く活動場面は 28 カ所，話し合う活動場面は 9 カ所である。</li> </ul>